

(別紙4(2))  
目標達成計画

事業所名 わかばの家 青谷  
作成日: 令和4年2月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

| 【目標達成計画】 |      |   |                                     |  |            |
|----------|------|---|-------------------------------------|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標                                  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | (1)  | 現在の理念は職員の理解がすすまない。  | 事業所独自の地域密着型サービスの目的に沿った理念となるよう検討を行う。 | 職員全員で現在の理念の見直しの検討を行う。                                | 6ヶ月        |
| 2        | (3)  | 運営推進会議の内容について職員への周知が十分ではない。                                     | 運営推進会議の内容を職員が理解する。                  | 今後、職員も会議に参加し運営推進会議の内容をすることにより、支援に活かす。                | 4ヶ月        |
| 3        | (7)  | 事業所の運営職員個々の思いや意見を聞く機会が十分ではない。                                   | 管理者が職員の思いや意見を聴く機会を多くする。             | 定期面談や日常業務のなかで管理者が職員の思いや意見を聴く機会を持つ。                   | 6ヶ月        |
| 4        | (11) | 事業所は中心街から離れており、緊急時の対応や連携を検討する必要があります。                           | 医療の地域格差が起きないように、緊急時の対応を検討する。        | 緊急時対応マニュアルの整備と関係機関との連携を行う。                           | 6ヶ月        |
| 5        | (19) | 利用者の生活空間に日常生活必需品やプライバシーに関する物品が置かれ、高所に消毒液等が置かれ、落下時の怪我が想定される状況です。 | 直接目に触れないような配慮や安全面に考慮した物品の保管に努める。    | 常時必要な物と片付けられる物品との整理を行い、個人の使用物については、プライバシーに配慮した工夫を行う。 | 3ヶ月        |